

証 拠 保 全 申 立 書

（令和 年 月 日）

特許庁長官 殿
（特許庁審判長 殿）

- 1 事件の表示
- 2 申立人
住所（居所）
（電話番号）
氏名（名称）
（国籍・地域）
- 3 代理人
住所（居所）
（電話番号）
氏名（名称）
- 4 相手方
住所（居所）
氏名（名称）
- 5 証明すべき事実
- 6 証拠
- 7 証拠保全の事由
- 8 疎明方法
- 9 添付書類又は添付物件の目録

〔備考〕

- 1 「事件の表示」の欄には、審判請求前にあつては「特許第〇〇〇〇〇〇〇号に関する証拠保全申立事件」、審判請求後にあつては「無効〇〇〇〇－〇〇〇〇〇〇に関する証拠保全申立事件」のように記載する。
- 2 「証明すべき事実」の欄には、申立人の主張を裏付ける事実を記載する。
- 3 「証拠保全の事由」の欄には、速やかに証拠調べを行わなければならない事情を記載する。
- 4 「疎明方法」の欄には、証拠保全の事由を裏付けるに必要な疎明を記載する。
- 5 その他は、様式第3の備考1から3まで、5、7から11まで及び14から16まで、様式第5の備考3、様式第55の2の備考6、様式第57の備考2、様式第61の備考3並びに様式第61の2の備考3と同様とする。この場合において、様式第5の備考3中「添付書類の目録」とあるのは「添付書類又は添付物件の目録」と読み替えるものとする。